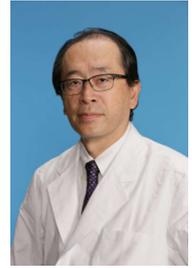


研究分野 医療

キーワード 画像診断, Interventional Radiology (IVR),

多検出器 CT による膵異型・膵病変の形態学的変化ならびに高分解能 MRI による正常および病的腹部・骨盤部リンパ路の評価



医学部 放射線医学講座 <http://www.oita-u.ac.jp/>
准教授 松本 俊郎 (Shunrou Matsumoto)

研究概要

【研究 1】多検出器 CT による膵異型および膵病変の形態学的変化の解析

膵グループ領域の正常および病的状態、膵管内乳頭状粘液腫瘍のボリューム解析等に関して多検出器 CT を用いて研究している。

【研究 2】高分解能 MRI による正常および病的腹部・骨盤部リンパ路の評価

肝深在系（門脈周囲）リンパシステムならびに骨盤部リンパシステムの正常状態と病的状態を 3T MRI の高度脂肪抑制 thin-slice 画像を用いて解析している。特に骨盤部では、病的群として直腸癌におけるリンパ節転移を対象に研究を行っている。

アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

【これまでに取得した科学研究費】

H22-24 多検出器 CT を用いた肝内外門脈周囲域への癌進展形式の解析

H25-27 高分解 MRI による腎周囲リンパ網の解析

H28-30 造影剤併用高分解 MRI による肝深在系リンパ管解析

（関連論文）

1. Matsumoto S. et al. "Peripancreatic strands appearance" in pancreatic body and tail carcinoma: evaluation by multi-detector CT with pathological correlation. *Abdom Imaging*. 37:602-608, 2012.
2. Matsumoto S. et al. Perirenal lymphatic systems: Evaluation using spectral presaturation with inversion recovery T(2)-weighted MR images with 3D volume isotropic turbo spin-echo acquisition at 3.0T. *J Magn Reson Imaging*. 44:897-905, 2016.

応用可能な分野

・放射線診断学